

(別紙2)

介護支援専門員等意見書

入所申込者氏名

1. ご本人の状況

要介護度	1	2	3	4	5				
認知症による不適応行動	非常に多い	やや多い	少しあり	なし					
障害高齢者の日常生活自立度	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2
認知症高齢者の日常生活自立度	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M	

2. 在宅サービス利用度

在宅サービス限度額割合	60%以上	50%以上	30%以上	30%未満
-------------	-------	-------	-------	-------

3. 主たる介護者・家族等の状況

世帯の状況	独居	高齢者世帯	その他()		
介護者の年齢・続柄	歳	続柄()			
介護者の介護負担	重い	やや重い	軽い	負担なし	
介護者の障害や疾病	有	無	(介護困難・多少介護・介護可能)		
介護者の就労	有	無	(職種等)	日/週	時間/日
介護者の育児、家族の病気	有	無	(常時・半日・随時)		
主たる介護者以外の介護協力	有	無	(続柄)	日/週程度	

* 1日あたりの目安は、2時間程度以上又は、頻回以上とする。

4. 他の要介護者による評価の調整

他の要介護者	有	無	(要支援・要介護 1・2・3・4・5)
--------	---	---	-----------------------

5. 入所についての介護支援専門員等の意見

事業所名

電話番号

記載者氏名



※注意

意見書作成にあたっては、別紙3-2<評価基準における状況評価上の留意事項>を参照の上記入のこと

(別紙3-2)

<評価基準における状況評価上の留意事項>

1 「認知症による不適応行動」

徘徊及び認知調査における「精神・行動障害」に関する項目に3つ以上該当する場合で、「非常に多い」は毎日ある場合、「やや多い」は週に1～2回以上ある場合、「少しあり」は月に1～2回程度ある場合を目安とする。

「精神・行動障害」

- | | |
|-----------|---------------|
| 1. 被害的 | 9. 一人で出たがる |
| 2. 作話 | 10. 収集癖 |
| 3. 感情が不安定 | 11. 物や衣類を壊す |
| 4. 昼夜逆転 | 12. ひどい物忘れ |
| 5. 同じ話をする | 13. 独り言・独り笑い |
| 6. 大声を出す | 14. 自分勝手に行動する |
| 7. 介護に抵抗 | 15. 話がまとまらない |
| 8. 落ち着きなし | |

2 「介護者の障害や疾病」

「介護困難」は、介護者が障害や疾病のため要介護者の排泄、入浴、移動、着替え、食事などのADL全般の援助が困難な場合、「多少介護」は、介護者が障害や疾病のため2つ程度のADL援助ならばできる場合、「介護可能」は障害や疾病はあるが、介護可能な状態である場合を目安とする。

3 「主たる介護者以外の介護協力」

「随時あり」は週に1～3日、「常時あり」は週4日以上ある場合を目安とする。

4 病院、施設等に入院(所)中の方については、当施設への入所の緊急性及び評価基準に照らし詳細な調査を行い検討委員会で協議の上判定する。

5 「高齢者」とは、65歳以上

「高齢者世帯」とは、65歳以上の方のみで構成されるか、もしくはこれに18歳未満の未婚の方が加わった世帯をいう。

「独居(ひとり暮らし)高齢者」とは、同一敷地内に介護者(扶養義務者)がいない場合で、本人が65歳以上。

いずれも申請日現在の年齢とする。